

(PART 1)

「覚悟の軌跡」～新潟日報でたどる10年～

- ・差別偏見を恐れながらも名乗りを上げた患者の「覚悟」
- ・解決まで先頭に立って闘うと決めた原告の「覚悟」
- ・被害者の思いを社会に訴え続ける記者の「覚悟」

(PART2) 多彩なパネリストによる パネルディスカッション

- ・新潟水俣病で生きる道を決めた若者
- ・患者と阿賀野川にカメラを向け続ける写真家
- ・12年間の裁判を闘う原告団、弁護団の二人の団長
- ・水俣病を追い続ける現役新聞記者

○日時 2025年11月3日(月・文化の日 祝日)

午後2時～4時(開場 1時30分)

○会場 新潟日報メディアシップ 2階
日報ホール

新潟市中央区万代3-1-1 萬代橋ふもと ☎025-385-7500

○申込 事前のお申し込みを下記の方法でお願いします。

- ①ファックス 025-248-8476
②メール agano_kanjakai@nifty.com

④QRコード



③郵送 〒950-0075 新潟市中央区沼垂東6-4-12 新潟水俣病阿賀野患者会
先着順で受付し、定員になり次第、申込を締切し、入場いただけない方
だけにはご連絡いたします。お早めにお申し込みください。

○締切 10/20(月) ○入場無料です。



写真・小原王明撮影

新潟水俣病阿賀野患者会
2007年(H19)6月23
日に結成。ノーモア・ミ
ナマタ第1次訴訟を開
く、(H23.3)に和解成
立。第2次訴訟を開いて
12年目を迎える。(原
告数145人)被害者救済
と共に患者の「医療・介
護・福祉」要求実現に力
を注ぐ。(会員296人)

阿賀と生きる会

〈阿賀と生きる会〉は、
阿賀野川と水俣病、川の
暮らしや文化を、上映会
や企画展を通して、地元
の方々をはじめ、これから
を生きる若い学生の皆
さんと語り合い、学び考
える居場所づくりを目指
しています。

新潟水俣病 市民講演会

「覚悟」 の軌跡

水俣病患者の、若者の、プロ写真家の、弁護士の、
地元新聞社・記者の夫々の「覚悟」を受けてトークイン

入場無料
事前のお申込を

主催 新潟水俣病阿賀野患者会 阿賀と生きる会 後援 新潟日報社

酢山省三 090-4923-0050

山田孝太郎 080-9990-0933

「新潟日報」記者が語る新潟水俣病・講演会 申込書

2025年 月 日

○氏名

○電話番号

○住所 〒